

## VI-5. 平成30年度 ベルアルプ 事業計画

### 中期事業計画

#### 10ヵ年基本方針

「地域の介護・高齢者福祉の拠点施設をめざす」

医療と介護の複合施設の強みを活かし、ベルアンサンブル内での協働と地域との連携により、地域包括ケアの担い手としての介護拠点施設をめざす。

#### 中期ビジョン

地域で介護を必要とするパートナーが安心して暮らし続けることができるよう地域および関連機関との連携を深め、質の高い介護・福祉サービスが提供できる施設をめざす。

#### 中期戦略

複合施設の機能を活かし、在宅での生活が困難となる中重度要介護者および認知症高齢者の積極的受け入れを推進するとともに、在宅生活支援事業を強化する。

また、各種サービスの活用と地域に向けた情報発信や活動を通じて、施設と地域との相互関係の促進をはかる。

## 平成30年度 事業計画

### 1. 平成30年度基本戦略

パートナーの重度化に伴う多様なニーズに応える看護・介護の質向上をはかるとともに、利用者満足度の高い生活支援サービスを提供する。

また、地域および関連機関との連携を深め、地域の高齢者介護を支える福祉施設としての実績向上に努める。

### 2. 重点活動事項

#### (1) 利用者獲得

##### ア) 入居部門

- ・平均利用者数を 78.3 人／日（98%）を目標とする。
- ・入居者の平均介護度 4.0 以上を目標とする。
- ・退居後の空床期間を 5 日以内として、できる限り早期入居に努める。
- ・多職種協働による健康管理を強化し、入院率低下に努める。

イ) 短期入所部門

- ・18 名以上／日（90%）を目標とする。
- ・定期利用者数を 80 名／月以上を目標とする。
- ・緊急ショート受け入れを断らない。
- ・生活プログラムの内容を工夫し、利用者満足度向上に努める。
- ・介護支援専門員との情報の共有化に努める。

(2) サービス

ア) 認知症ケアの取り組み

- ・認知症ケア加算(Ⅱ)を取得する。
- ・認知症ケア委員会を立ち上げ、認知症ケアの充実をはかる。
- ・BPSDなどの症状に対して分析、アセスメントをスタッフが無理なくできるようなアセスメントツールを検討する。
- ・認知症の方へ関わりの方法（ユマニチュード etc）をさらに浸透させ、入居者に安心したケアを提供して行く。
- ・学習療法を施設全体で取り組み、さらに充実させていく。

イ) 入居者・職員にも「楽なケア」を展開する。

- ・スライディングシート、スライディングボード、リフトなどの導入を検討する。

ウ) 介護記録の効率化、入居者の見守りなどに、AI 導入を検討する。

エ) 看取り介護の継続

- ・PDCAサイクルにより看取り支援を展開する。
- ・パートナー、家族に寄り添い、こまめな情報提供で不安の軽減に努める。
- ・家族、スタッフに対して実施しているグリーフケアを継続する。
- ・49 日に手紙とアルバムを作成しお届けする。
- ・デスカンファレンスの見直しを行い充実させる。

オ) 褥瘡発生予防を計画的に実施し、褥瘡発生ゼロを継続する。

- ・栄養状態や皮膚状態に留意し、関連職種協働で褥瘡管理に関する計画を作成し、褥瘡マネジメント加算を取得。

カ) 介護福祉士による喀痰吸引を積極的に実施し、誤嚥性肺炎予防に繋げる。

キ) 画一的な訓練でなく、各個人に合った個別機能訓練を実施する。

- ・ポジショニング、シーティングの評価を適宜行い、常に良い姿勢で生活できるよう支援する。

ク) 平成 30 年度第三者評価再審を職員へ周知する。

(3) コスト

- ア) 時間外勤務削減（目標 10%減）
  - ・業務効率化に取り組み、会議開催を時間内に実施する。
  - ・ノー残業デーを月 2 回実施する
- イ) ワーキングチームにより、消耗品等の適正使用、管理を行う。
- ウ) 職員の物品などに対する意識啓発を行う。
  - ・大切、丁寧な使用で修理・修繕費を削減する。
- エ) 水道光熱費の削減に努める。

(4) 組織人材

- ア) 看護・介護キャリアパスを活用し人材を育成する。
  - ・個人目標を明確にし、達成できるよう支援する。また、達成感を感じることでやりがいに繋げる。
- イ) 外部研修などに積極的に参加し、新たな資格、知識を得ることで、自身の成長発達に繋げることができ、施設にも活かせる。  
認知症実践者研修・認知症実践リーダー研修・ユニットリーダー研修 など
- ウ) 介護研究の取り組みを学会、福祉施設大会等で発表する。
- エ) 有休取得率を向上させ、介護職のワークライフバランスを実現させる。
- オ) 「楽なケア」を導入し実践して行くことで、働き続けられる環境作りをする。
- カ) ユニットケアを充実させ、評価することでやりがいに繋げて行く。
- キ) 施設内でユニットケア活動実践報告会を開催し情報の共有をはかる。(3月)

(5) 地域貢献

- ア) ベルアンサンブルとして、地域との交流を積極的に行う。  
住民向けセミナー開催、防災フェスタ、自治会への出前講座など
- イ) 地域住民との交流の場、「ベルアルプふれあい喫茶」「ぬくもりカフェ」の開催を継続する。(毎月)
- ウ) 地域の認知症カフェに職員も積極的に参加し、地域との交流をはかる。

3. 重点活動目標値

- (1) 今年度の月別 1 日平均パートナー数の目標値は次の通りとする。

(単位：人／日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居	79	78	79	78	78	79	79	78	78	78	78	78
短期	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
通所	32	32	33	33	34	34	34	33	33	33	33	33

## 4. デイサービスセンターの具体的目標

- ア) 新規利用者4名以上を確保し、平均利用者数33名／日为目标とする。
- ・登録者数 100名以上 を目标とする。
  - ・渉外活動を継続し、体験利用者4名／月为目标とする。
- イ) リハビリ機能を強化し、個別機能訓練のニーズにも柔軟に対応する。
- ・ベルピアノ病院通所リハビリとの連携に努める。
- ウ) パートナーの健康管理に注意し、キャンセル減少に努める。
- エ) 地域包括支援センターとの連携を強化する。
- オ) 中重度者ケア体制加算、認知症加算を維持継続する。